

# 風舟



2019年冬季号  
日本共産党千鳥後援会かざふね  
電話 03-3750-6638  
発行責任者中島修一  
2019年1月発行季刊第30号  
【部内資料】

## 暮らしを応援する区政に

区議会議員 福井りょうじ

今年4月に区長・区議会議員選挙が行われます。

松原区長は新空港線蒲蒲線の整備や羽田空港跡地開発を進めることなどを理由に、4期目出馬表明をしました。松原区政はこの間、大型開発をすすめる一方で区民への負担増を押し付けてきました。毎年100億円前後の予算の使い残しがありながら、小中学校の給食費値上げ、保育料の値上げ、公共施設使用料の値上げなど行ってきました。大型開発や新空港線蒲蒲線を進めても、区民の暮らしはけっして良くなりません。

日本共産党区議団は議員提案権を活用し、給食費の無料化や介護応援手当、国保料の引き下げなど暮らしを応援する条例提案を行って来ました。この4年間で23本の条例提案です。(自民・公明党は条例提案0件)

共産党区議団は私を含め9名が立候補します。9名全員を大田区議会に送っていただき、負担増・大型開発優先の区政から暮らしを応援する区政に切り替えます。私も全力を尽くします。何としても区議会に送ってください。皆さんのご支持・ご協力を心からお願いします。



## 消費税増税は中止にすべきです

都議会議員 藤田りょうこ



### 消費税増税で都民負担が123億円増？

今年10月から予定されている消費税10%への引き上げで、上下水道と都営交通への影響額は年間123億円に上ることが、昨年12月議会での都議団の質問によって初めて明らかになりました(都営交通の乗車料金は33億円増、水道料金は58億円増、下水道料金は32億円増)。

「生活に欠かせない水道・都営交通の公共料金について、都民の負担を増やさない対応を強く求める」とし、国に消費税増税の凍結、中止を求めるよう迫りました。小池知事は「消費税は国のテーマである」とし、「都民生活への影響を注視していく」との答弁にとどまりました。

### 消費税10%増税は中止を！

消費税増税による影響を懸念して「軽減税率・複数税率の導入」→次頁

## 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、あたたかい施策を望みます。

大田区の資料によると、65歳以上の高齢人口は平成30年度16.5万人。また75歳以上の人口が、65～74歳までの人口を上回る予測となっています。この状況から、介護対象者が増加することは必至です。

▶国の介護保険制度が変わり、要支援1と2の被保険者が従来の介護保険サービス対象から外されました。大田区でも平成30年度から介護予防・日常生活支援総合事業として本格的に実施されています。介護予防・生活支援サービス事業は利用期間が原則最長1年とされており、利用者は様々な問題に直面しています。

▶いわゆる「卒業」を言い渡された方々は、一般介護予防事業を勧められていますが、体操や元気アップ教室、いきいきシニアサロン(75歳以上限定)などは送迎が無く、またこの千鳥には老人いこいの家も在宅サービスセンターも無く、歩行が困難な方は参加できない現実があります。

▶昨年3月にケアホーム千鳥が開設されました。気軽に立ち寄られて相談できる場所として、また大田区が進める一般介護予防事業をぜひこの施設を利用して、定期的実施するよう望みます。区営住宅プラムハイツの集会室や町会会館なども利用して、高齢者の体力維持のための体操教室などを身近な場所で実施してほしいと思っています。担当の包括地域センターたまがわにも申し入れをし、大田区への陳情も出すつもりです。(2丁目在住 K・N)



【介護予防・生活支援サービス事業】 大田区ホームページより

- 通所型
  - ✓ 体力アップ: 体力アップを目指したサポート
  - ✓ 生活機能アップ: 仲間と一緒に心と体の元気度をアップする
- 訪問型
  - ✓ 生活力アップ: ホームヘルパーとともに生活力の向上を目指す
  - ✓ 大田区絆サービス: 地域のボランティアが自立した生活をサポート
  - ✓ 元気アップリハ: 機能訓練指導員が訪問して機能訓練

【一般介護予防事業】

公園体操, 水中ウォーク, ポール・ウォーク, 体力測定, 椅子ストレッチ, 歌声フィットネス, 認知症予防体操, 認知症予防講座, 食生活講座, 口から始める健康講座など

## 筋トレ爺のつづき…4

今年の1月20日、ギネスで認定された男性で世界最高齢の北海道の野中さん(113歳)が亡くなった。家族の話では直前まで元気だったという。これまで世界一長生きした男性は木村次郎衛門さん。6年前に116歳で亡くなったがこの記録は今も破られていない。木村さんは死ぬまで「しんぶん赤旗」を毎日愛読していた。私の母は100歳になってもまだまだ生きていたいと願っていたが、心不全で101歳になる直前に亡くなった。母も「しんぶん赤旗」の愛読者であった。母のそばにいて、人は死ぬ間際まで楽しく元気で生きていたいと願っていることがよく分かった。私自身何歳まで生きられるかわからないが、「しんぶん赤旗」を読みながら、死ぬまで元気にと筋トレに励む毎日だ。いよいよ二大選挙の年。筋トレ爺がこの選挙で頑張れる体かその真価が試される。平和で安心して暮らせる社会を子や孫にと願うのは誰しもが思うこと。消費税を上げ、憲法九条を改悪し、米軍兵器を買いまくる安倍自・公政権。暮らしや福祉に使うべき区民の血税を湯水のごとく大規模公共事業に注ぎ込む自・公区政。今年選挙で自・公政治にサヨナラするため、共産党を躍進させ、市民と野党の共闘実現に向け頑張りたい。(K・N)

**共産党と後援会の決起集会**

2月16日(土) 午後2時  
池上会館一階展示室

**日本共産党大演説会**

3月16日(土) 夜  
アプロ大ホール

## アベ政治 ストップの年に

風舟ニュースをご覧の皆さん。

去年は本当にお世話になりました。

今年「選挙の年」です。例年に倍するご支援、ご協力を心からお願い致します。

皆さんの生活はいかがでしょう。福井りょうじ区議と新年の挨拶回りをしたり、千鳥町駅前やサミット前での宣伝やハンドマイクで街中宣伝をしていると、「消費税10%は本当に困る」「憲法9条は変えて欲しくない」「沖縄の辺野古の基地はひどい。アメリカにもっと物言えないか」「原発は要らない」「税金は暮らし福祉に回してほしい」…など当たり前の声を聞きます。

これらの声はそのまま日本共産党の政策そのものです。草の根で区民と一番結びつき「差額ベッド代の解消」など、たくさんの生活相談に応じている日本共産党を大きく躍進させていただき、今年「暴走するアベ政治」にサヨナラする年にしていきましょう。

4月は区議選・区長選。福井りょうじ区議の3選をよろしくお願ひします。7月は参議院選挙。野党と市民の共闘に一番熱心で要となる共産党の躍進は欠かせません。東京選挙区は吉良よし子 比例では小池晃書記局長を始め7人の当選のためにお力をください。比例の投票では「日本共産党」とお書きください。

どうぞご支援の輪を広めて頂きますよう心からお願いいたします。

(日本共産党千鳥支部長 中島修一)



前頁より→「レジ導入費用の補助」や「ポイント還元」など、様々な対策を講じるとしていますが、これらの対策に1兆円の費用がかかるとも言われています。消費税対策に巨額の税金投入を行うくらいであれば、消費税増税は中止すべきです！今後5年間で27兆円とも言われる軍事費を削り、これまでアベノミクスでさんざん儲けた大企業や富裕層に、応分の税金を払ってもらえば、消費税に頼らずに社会保障の財源を作ることができます。みんなで声を上げていきましょう！